

販売用資料

追加型投信/国内/株式

日本厳選株式ファンド(愛称:ニホンノヒカリ) 銘柄紹介



Innovator in Electronics(エレクトロニクスの改革者)

<6981>村田製作所

“Innovator in Electronics”は、村田製作所の創業50年を機に策定されたグループ社員全員が共有するスローガンです。ここには「エレクトロニクス産業のイノベーションを先導してゆく存在でありたい」との思いが込められており、社員一人一人が改革者として、自らの仕事を変革することが求められています。

村田製作所はこれまでエレクトロニクス産業のイノベーションを先導する存在でした。社是の一部に「科学的管理を実践し」とありますが、古くからマトリックス管理を行い多面的な状況把握と改善策により生産性の改善につなげてきました。小型・高性能の部品を開発・生産し、電子機器の小型化・高性能化に貢献してきた同社の製品がなければ、今日における手軽で便利な生活は考えにくいでしょう。

■ 事業内容

村田製作所は世界的な電子部品メーカーであり、部品単体のコンポーネント事業と部品を組み合わせたモジュール事業を行っています。主要製品でのトップシェアを背景にした情報力、素材や製造設備まで遡った製品力、大量生産に耐えうる生産力、科学的管理に裏打ちされたカイゼン力、高収益性に支えられた資金力など、総合力で勝負し成果を上げ続けています。

MLCC(積層セラミックコンデンサ)は世界シェア40%を持つ同社の稼ぎ頭の製品です。電気を貯めたり整えたりする役割をする部品であり、電子機器が高性能化・高機能化すればするほど必要とされます。これまでは通信機やコンピュータなどが需要の中心でしたが、最近はコンピュータ化が進む自動車が新たな需要先として期待されています。自動車は特に安全性が求められる分野であり、信頼性が高い同社製品の高成長が期待されます。

0402Mサイズ

市場シェア
60%

1uF以上

市場シェア
40%

MLCC全体

市場シェア
40%

0603Mサイズ

市場シェア
50%

自動車市場

市場シェア
50%

出所:村田製作所HP「技術記事」をもとに、りそなアセットマネジメント作成。

※上記の個別銘柄はあくまでも当ファンドが過去に投資した銘柄の一例であり、現在および今後の組み入れを示唆・保証するものではありません。
※また、掲載した個別銘柄の売買を推奨するものではありません。



りそなアセットマネジメント

作成基準日:2021年9月9日

「社会から選ばれ続ける企業であるために」

<7741>HOYA

HOYAは、かつてはガラス製の食器やシャンデリアなどを手掛けていました。現在はHDDガラス基板、半導体マスクブランクス、メガネレンズなどに展開する「事業ポートフォリオ経営」を行っています。各事業がライフサイクル上のどの位置にあるのかを見極め、より成長性の高い事業へ経営資源を配分し、競争優位を失った事業からは撤退することを繰り返すことで、常に社会から選ばれる魅力的な企業であり続けるよう努力しています。

個別の事業については「小さな池の大きな魚」戦略を基本としており、市場規模は小さくてもそのなかで圧倒的なシェアを獲得し、高い収益を得ることを目指しています。また、四半期ごとに各事業のレビューと改善活動を続けることで、各事業への経営資源の配分、縮小・撤退などの判断を的確に行い、高い収益性を実現しています。

■ 事業内容

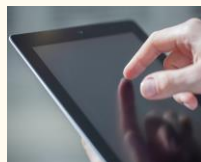
HOYAでは現在大きく2つの事業、具体的には情報通信事業とライフケア事業を手掛けています。情報通信事業では、HDDガラス基板は市場を独占しており、半導体マスクブランクスは最先端のEUV露光用では90%のシェアを持っています。半導体業界のなかでEUV露光は普及期にある技術であり、同社業績のけん引役として期待されています。

また、ライフケア事業において、メガネレンズは業界2位、内視鏡は業界3位、コンタクトレンズ販売は国内1位のシェアを持っています。

世界の近視人口は現在約25億人、2050年には約50億人になると予想されています。同社は香港理工大学との共同研究を経て小児用の近視抑制メガネ「MiYOSMART」を開発し事業化しています。普通に使っているだけで標準的なメガネと比べて近視の進行を平均60%遅らす効果があることから、世界的な普及が期待される商品です。

◆半導体マスクブランクス ： EUV露光技術

- ▶ 半導体回路のさらなる微細化のための次世代技術としてEUV露光技術があります。
- ▶ これにより半導体の集積度は一層高まり、電子機器はより速く、より高性能になることが期待されています。



◆MiYOSMART ： 小児用の近視抑制メガネ

- ▶ 2012年、香港理工大学と共同で近視抑制用の眼鏡レンズの開発を開始しました。
- ▶ 2018年MiYOSMARTを一部の市場で発売、今後販売地域の拡大を予定。世界規模の課題への貢献を目指しています。



出所：HOYA HP「事業紹介」及び2022年3月期第1四半期決算説明資料をもとに、リそなアセットマネジメント作成。

※上記の個別銘柄はあくまでも当ファンドが過去に投資した銘柄の一例であり、現在および今後の組み入れを示唆・保証するものではありません。
※また、掲載した個別銘柄の売買を推奨するものではありません。

■ 当ファンドのコンセプト

日本厳選株式ファンド(愛称:ニホンノヒカリ)は、将来も持続的に成長する企業の共通点として「競争に勝ち続ける習慣」に着目します。

当ファンドでは、数ある日本企業の中でもこれまで世界の競争で勝ち続けてきた企業、そしてこれからも競争優位性を持続・強化していくと考えられる企業に「長期・厳選投資」を行うことで、世界全体の株式にも負けないパフォーマンスを目指します。

◆ 「勝ち続ける習慣」のある企業の見極め

当ファンドでは、グローバル市場で競争に長期的に勝ち続ける企業を厳選して選別すべく、①企業の自己認識、②企業の戦略、③企業活動の発揮・実行、④企業の目標達成度管理・改善姿勢の4つのポイントに重点をおいて徹底したリサーチを行っています。

当ファンドでは、これら4つのポイントからなるリサーチの手法を「ISDK分析」と称し、日々優れた銘柄の選別に注力しています。

Intity : 自己認識

Strategy : 戦略

Develop & Deliver : 発揮 & 実行

KPI & Kaizan : 目標達成度管理 & 改善



■ ファンドマネージャーのコメント

1980年代の半ばにこの世界に足を踏み入れたころ、我が国は「ジャパン・アズ・ナンバーワン」という書籍がベストセラーになるような輝かしい時代でした。世界トップの会社が多く存在していましたが、その後の停滞は多くの方がご存じの通りです。ただ、その中でも様々な環境変化を乗り越えて成長し続けた会社が存在します。もしそこに投資し続けていれば大きな投資リターンを享受できました。

このような会社をどう見つければ良いのか？ということを考え続けるなかで、大学教授等の協力を得て、種々の競争に長期的に勝ち続ける会社を選定するプロセス(ISDK)を開発することができました。我々は、短期的な相場やマクロ経済環境などに左右されず、我々の選定基準をクリアした企業に投資し続けることで投資リターンを追求し続けます。当ファンドを通じて、多くの投資家の皆さまにこの体験を共有してもらいたい、というのが我々の願いであります。

【投資リスク】

当ファンドの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いいたします。

◆市場リスク(株価変動リスク)、◆信用リスク、◆流動性リスク

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドの費用】

購入時手数料:購入申込総金額に応じて3.3%(税抜3.0%)を上限として、販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じた額です。運用管理費用(信託報酬):ファンドの純資産総額に対して、年率1.463%(税抜1.33%)を乗じて得た額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用として計上されます。その他の費用・手数料:監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な費用等(これらの消費税等相当額を含みます。))は、その都度(監査費用は日々)ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。

※上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

【ご留意事項】

当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」等を販売会社よりお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。投資信託は預金や保険契約ではなく、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社以外でご購入された場合は、投資者保護基金の対象にはなりません。投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。当資料は、当社が信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績および市場環境の分析等の記載内容は過去の実績および将来の予測であり、将来の運用成果および市場環境等を示唆・保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により、運用方針が変更される場合があります。当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。当資料の記載内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

【投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お申込みは】

【設定・運用は】



商号等:株式会社関西みらい銀行
登録金融機関 近畿財務局長(登金)第7号
加入協会:日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会



商号等:りそなアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2858号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会